

21 "HBO Practice in Germany" at Karolinska Postgraduate Course in 2006

Jacek Kot¹⁾ Zdzislaw Sicko¹⁾ 合志清隆²⁾

- 1) National Center for Hyperbaric Medicine in Gdynia, Institute of Maritime and Tropical Medicine, Medical University of Gdansk, Poland
- 2) 産業医科大学病院 高気圧治療部・脳神経外科

ポーランドは本邦の人口の約1/3を擁する欧州の一国であるが、高気圧酸素治療(HBO)が可能な施設が3ヶ所ある。そのなかで最大規模の施設である国立高気圧医療センターの診療状況について紹介する。この施設の特徴を述べると、1)重症軟部組織感染症の集中治療の一環としてHBOが行われていること、2)疾患の種類によって治療装置を使い分けていること、3)移動用の治療装置を有しており遠隔地で直接ないし搬送中にもHBOが可能であること、などである。年間の治療患者数は400~500例であり、難治性の潰瘍を伴う足病変や感染症が主な治療対象である。しかし、最も力を注いでいるのがガス壊疽や壊死性筋膜炎などの軟部組織の重症感染症である。この疾患の治療には感染症患者専用の手術室とHBO装置が設置されていることも特徴の一つである。

参考文献

合志清隆：ポーランドの高気圧酸素治療の状況—カロリンスカ大学院コースから—。日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2007; 42: 35-39.

22 "HBO Practice in Germany" at Karolinska Postgraduate Course in 2006

Armin Kemmer¹⁾ 合志清隆²⁾

- 1) Intensive Care Center, Trauma Center Murnau, Germany
- 2) 産業医科大学病院 高気圧治療部・脳神経外科

欧州で最も高気圧酸素治療(HBO)が普及しているのはドイツである。本邦では比較的稀な外傷センターでのHBOの診療状況を紹介する。1953年に設立されたMurnau外傷センターであるが、1998年に2台の第2種HBO装置が導入されている。年間の治療患者数は200~300例であり、延べ治療数は4000~5000件である。しかし、治療患者の15%が人工呼吸器管理であり、本邦の治療法とは異なったところがある。治療の対象疾患で最も多いのが挫滅創であり、その治療にHBOが重要な治療手段となっている。例えば、四肢を中心とした外傷の患者が搬入されると、最初に血管の再建と異物や挫滅壊死組織の除去が行なわれ、骨折があれば創外固定へと移る。この手術後の引き続き24時間以内に、HBO(2.4気圧の90分間)が3回行なわれる。その後のHBOは日に2回が3日間続けられ、少なくとも軟部組織の外傷の急性期にはHBOが5日間も行なわれる。2006年4月にカロリンスカ大学院コースで紹介された内容と具体的な診療状況を紹介したい。

参考文献

合志清隆：ドイツMurnau外傷センターの高気圧治療部門。ICUとCCU(印刷中)